

2003年度 Block. 6

課題 No. 2

課題名：なんて小さな赤ちゃん



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート 1

早田さんの赤ちゃんは予定より 3 カ月も早く生まれました。分娩室で赤ちゃんを抱っこしたお母さんは「なんて小さな赤ちゃんだろう」と思いました。その後すぐに赤ちゃんは、治療のために NICU に入院しました。

抽出を期待する事項：

- 妊娠期間，出産予定日，
- 早産
- 胎児発育
- 低出生体重児
- 母子接触
- NICU

教材と資料

教材 1：出生時体格基準曲線
症例の在胎週数と出生体重をプロットして相応体重か検討する。

(真子良全) 真子良全の児童科坐出常五と児童科坐出常三 林博
面、まじ及こちがちきのイーにのちがーせニ子、母衛克、ちち小の児
ふるじ親を安不の勝

シート 2

早田さんの赤ちゃんは在胎 27 週 2 日、1100 g の男の子でした。アプガースコアは 1 分後 6 点 5 分後 8 点でした。入院時、脈拍 130/分、呼吸数 40/分、血圧 40/25 mmHg、体温 36.0°C でした。

まもなく保育器に收容され酸素の投与が開始されました。赤ちゃんは自分で呼吸をしていますが、時々うなり声が聞こえます。NICU に面会に入った早田さんのご主人は赤ちゃんの胸がペコペコへこむのが気になります。体にたくさんの器具や点滴がついていました。

抽出を期待する事項：

在胎週数の評価

アプガースコア

新生児のバイタルサイン

保育器

酸素投与

新生児の呼吸障害の症状（呻吟、陥没呼吸）

低出生体重児の早期合併症

全身写真；正常新生児との違い（小さい、痩せている、皮膚色）、
点滴・モニターなどが装着された赤ちゃんを見ての感想

教材と資料

教材 2：在胎週数評価法（Dubowitz 法評価用紙）：

新生児の身体所見、神経学的所見から在胎週数を推定する方法を学ぶ。

教材 3：低出生体重児と正常出生体重児の全身写真（カラー写真）

児の小ささ、皮膚色、モニターなどのコードの多さなどに気づき、両親の不安を感じとる。

シート 3

早田さんの赤ちゃんの入院時の検査結果は以下のとおりです。新生児科の先生から「赤ちゃんは予定より早く生まれたため呼吸の状態が十分ではありません。気管に管をいれて呼吸を助けてあげようと思います」とお話がありました。

足底採血（毛細管採血）での Data, () は正常新生児の基準値

血液ガス：pH 7.235 (7.25~7.40) PCO₂ 65.7mmHg (30~50)

PO₂ 36.5mmHg (40~80) HCO₃ 21.4mmol/L (20~26),
BE-6.4mmol/L (-5~1)

血算：RBC 451 万/mm³ (5.35±0.58 万) Hb 17.2g/dl (19.0±2.1)

Ht 49.6% (57.9±4.4) PLT 18.5 万/mm³ (24.7±6.8),

WBC 15000/mm³ (19.6±5.6×10³)

生化学：TP 4.2g/dl (4.9~7.0) グルコース 30 mg/dl (25~96)

Na 135.5mmol/L (135~145) K 4.8mmol/L (4.2~6.2) Cl

101.4mmol/L (101~112) Ca 7.4mg/dl (7.6~11.2) P 5.0 mg/dl (4.5~8.8)

血清：CRP 0.0 mg/dl (0.0)

IgG 470 mg/dl (1031±200) IgA 3 mg/dl (2±3) IgM 10 mg/dl (11

±5)

マイクロバブルテスト：供覧

胸部 XP：供覧

抽出を期待する事項：

気管内挿管

人工呼吸

呼吸窮迫症候群の成因

X線単純写真；赤ちゃんの小ささに気づく、呼吸窮迫症候群の所見

血液データ；呼吸障害の血液ガス（高CO₂血症，低O₂血症，呼吸性アシドーシス）低出生体重児の血液検査所見（低タンパク血症，低Ca血症，低血糖，低IgG血症）

マイクロバブルテスト

資料

教材 4：マイクロバブルテストの写真

症例の呼吸窮迫症候群(weak)と正常(strong)の違いを学ぶ。

教材 5：胸腹部 X線単純写真（治療前，治療後）

呼吸窮迫症候群の所見，治療効果を理解する。

シート 4

分娩翌日、早田さんをはじめて面会にはいりました。赤ちゃんは人工呼吸を受けていましたが、担当の先生から「呼吸状態は順調に改善してきています。そろそろお鼻に
入れた細いチューブから母乳をあげましょね。まだミルクの消化が十分には出来な
いので、母乳が必要ですよ」といわれました。

よくみるとまわりには小さな赤ちゃんが何人もいました。早田さんより2カ月以上
前に生まれたのに、まだ保育器にいる赤ちゃんもいました。ちょうど退院するところ
の赤ちゃんが、早田さんと同じように予定より3カ月早く生まれたのだと聞いて少し
安心しました。

RBC 451万/mm³ (4.52±0.58) Hb 17.2g/dl (19.0±2.1)
Ht 49.8% (57.9±4.4) PLT 18.5万/mm³ (24.7±6.8)
WBC 15000/mm³ (19.6±5.6×10⁹)
TP 4.2g/dl (4.9~7.0) アルブミン 30 mg/dl (25~36)
Na 135.5mmol/L (135~145) K 4.8mmol/L (4.3~6.3) Cl
101.4mmol/L (101~112) Ca 7.4mg/dl (7.6~11.2) P 5.0 mg/dl (4.5
(8.8))
CRP 0.0 mg/dl (0.0)
IgG 470 mg/dl (1031±200) IgA 3 mg/dl (2±3) IgM 10 mg/dl (11
(±)
資料: イヌマウス肺炎

抽出を期待する事項:

- 経鼻栄養チューブ
- 母乳栄養
- 低出生体重児の慢性期合併症
- 母子分離, 育児不安

取寄する検査項目

呼吸器内科

呼吸器科

呼吸器科 呼吸器科

呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科
呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科
呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科
呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科 呼吸器科

資料: イヌマウス肺炎

資料: イヌマウス肺炎

資料

資料: イヌマウス肺炎

資料: イヌマウス肺炎

資料: イヌマウス肺炎

資料: イヌマウス肺炎

シート5

3 カ月後、早田さんの赤ちゃんは順調に体重も増え2 kg を越えました。お母さんも退院の日を楽しみにしながら、毎日面会に通っています。

抽出を期待する事項：
低出生体重児の長期予後